

令和5年度

# 自衛官候補生課程入隊式



# よなば

第612号  
令和5年6月発行  
電子版第69号

「地域と共に」



宣誓 太田自候生

令和五年四月八日、桜満開の米子駐屯地において第八普通科連隊長（二等陸佐 阿部 正昭）は、令和五年度自衛官候補生課程入隊式を挙行した。

式には衆議院議員 赤沢 亮正様、参議院議員 舞立 昇治様、米子副市長 伊澤 勇人様をはじめ、部内外から多数の御来賓の参列を賜り、隊員御家族が見守る中肅々と挙行された。

式では、江角 拓実 自衛官候補生が代表して申告するとともに、太田 楓 自衛官候補生の先導により自衛官候補生全員が服務の宣誓を力強く行った。

連隊長は式辞において、「本日出隊した十八名の自衛官候補生諸君入隊おめでとう。また、高校や専門学校を卒業して進学や様々な業種への就職の選択肢がある中において、陸上自衛隊の自衛官候補生を職業として選んでくれたことに對して、連隊長としてお礼を言いたい。本当にありがとう」と感謝の言葉を述べた。

また、入隊にあたり連隊長として「向き不向きより前向き」「同期の絆を大事にせよ」「気力・体力の向上」の三点を自衛官候補生に對し要望し、体力検定での二級を目標に練成に励み、三ヶ月後に全員が体力徽章を制服に着用して後期教育の各駐屯地に巣立つことを連隊長として期待すると式辞で述べ、自衛官候補生の門出を祝った。

入隊式後は、記念会食が隊員食堂において行われ、御家族と自衛官候補生は食事をしながら久しぶりの再会に話が花が咲く様子が見え良き門出となった。

また記念会食の後段には、自衛官候補生の着隊から入隊式までの動画が放映されたのち、鳥取県隊友会会長 山本 洋様よりお祝いの言葉を頂いた。その後、常松 博樹 自衛官候補生が決意の言葉を力強く述べた。

自衛官候補生は、約三ヶ月にわたり陸上自衛官として必要な基礎的な教育及び訓練を受けたのちに二等陸士の階級が与えられそれぞれの職種・任地へ配置されることとなる。



決意表明 常松自候生



記念会食



執行者 式辞



式の様子



申告 江角自候生



体力調整



レンジャー旗授与



体力素養



申告を行う学生長 波戸三曹



リペリング



山地潜入

## 第27期部隊集合教育「レンジャー」

～令和五年度レンジャー教育始まる～

令和五年四月十日、第27期部隊集合教育「レンジャー」が米子駐屯地において開始された。レンジャー隊員の養成教育は、陸上自衛隊の中で最も過酷な教育であり、その目的は、レンジャー隊員として必要な知識及び技術を習得させるとともに強靱な体力・精神力及び実員指揮能力を養うことと、どのような厳しい任務にも耐え得る隊員を育成することにある。このため、レンジャー特技保有者は部隊にとりて任務を遂行する上で極めて重要な存在である。

昨年九月上旬から十一月下旬、米子駐屯地において三十一人ぶりに部隊レンジャー教育が実施され、

十五名の新たなレンジャー隊員を輩出した。今回の部隊「レンジャー」教育には、資格検査に合格した九名の隊員が四月十日の開始式から七月上旬までの約三ヶ月教育を受ける。

指導部には、教育隊長を木村 二佐（副連隊長）、主任教官 谷口一尉（第1科長）として、教官・助教は助教経験が豊富な経験値の高い連隊の隊員のみで編成されている。

四月十日に行われた開始式において第八普通科連隊長（一等陸佐 阿部 正昭）が教育開始にあたり学生を代表して申告を行い、その後レンジャー旗が手渡された。

開始式後は連隊長及び教育隊長による精神教育、体力調整が行われ駐屯地内を大きな掛け声とともに隊列を組んで実施された。

教育は三ヶ月間の中で、開始式から約二ヶ月間にわたり体力調整や基礎訓練等を行いその後、六月上旬からは生地における想定訓練を行い、レンジャー隊員としての資質や強靱な体力及び精神力を養う。

学生は、残り約一ヶ月間の厳しい訓練を乗り越え、七月上旬に行われる帰還式でそれぞれに与えられるレンジャー徽章の取得を目指し、己の限界に挑戦する。

いま、その一歩を踏み出すとき

## JAPAN PRIDE

自衛官募集

詳しくは自衛隊鳥取地方協力本部まで  
TEL: 0857-23-2251 または 鳥取PCO 検索

# 令和5年度 自衛官候補生



やまもとこうしろう  
山本晃士朗



むらた こうすけ  
村田 航祐



やまし かつのり  
山西 克昇



おぞえ はやと  
尾添 颯斗



いのうえ りく  
井上 凌空



かげやま りく  
景山 莉功



はらだ ひかる  
原田 晃



はら みこと  
原 生命



えずみ たくみ  
江角 拓実



おおた はやと  
太田 颯



ほぞき しんいち  
箱崎 晋一



いかわ ひじり  
居川 聖



そのやま こうき  
園山 公稀



つねまつ ひろき  
常松 博樹



きたお いたぶき  
北尾いぶき



あおき りょうが  
第三班 青木 諒河



ひらお ななと  
第二班 平岡 七斗



はまだ せいや  
第一班 濱田 惺也

米子駐屯地に着隊し、もう少  
しで約一ヶ月が経ちます。着隊す  
る前のも不安な心境を思い出  
し懐かしく感じます。今では自  
衛隊という新しい環境には少し  
づ慣れてきましたが、最初の一週

米子駐屯地に着隊し、約一ヶ月  
が経ちました。着隊日の私は、と  
ても楽しみな気持ちでいた反面、  
どんな同期がいるのか、どんな訓  
練をするのか、班長や教官はどん  
な人なのだろうと色々と感じなっ

三月二十七日に米子駐屯地に着  
隊し、約一ヶ月が経ちました。ま  
だ慣れないことが多く毎日が大変  
で、時間に追われる日々が続いて  
います。また、体力面でもまだ  
だ不安がありますが、毎日の訓練

の中で同期にも励まされながらな  
んとか頑張っています。  
私が自衛隊に入隊した理由は、  
テレビで災害派遣などで活躍する  
姿を見て自分も人の役にたてる仕  
事がしたいと思ったからです。そ  
して安定した仕事に就くことが  
これまで私を育ててくれた両親に  
対し一番の恩返しだと思い入隊を  
決意しました。

## 入隊所感

ですが、同期と力を合わせ自衛官と  
してだけでなく立派な社会人にな  
れるようこれからも全力で教育を  
受けて、いつか人の役にたてるよう  
一日一日を大切に立派な自衛  
官を目指し頑張っていきたいと思  
います。



着隊をしてからの日々は、取り  
締まり係や内務係で皆をまとめた  
り、縫い物やアイロン、靴磨き、ベッ  
ドメイクなど慣れないことばかり  
でも忙しですが、同期と協  
力しながら頑張っています。

最後にありますが、この三ヶ月  
の前期教育で自分がこれまで変わ  
れるか、体力面はもろろんですが  
精神面も成長できるような同期と  
協力しながら訓練に励んでいき  
たいと思います。



間是不安でいっぱいでした。  
着隊前の私は、まったく運動も  
せず休日は昼夜逆転した、だらし  
ない生活を送っていました。そん  
なだらしない生活を送っていた私に  
とって着隊してからの自衛隊の規  
則正しい生活はとてもつらく、普  
段から親に任せきりだった洗濯や  
アイロン掛けはかなり時間がかか  
り、普段仕事をしながら文句つ  
言わず当たり前になってくれた  
母親に感謝しています。またベッ  
ドメイクや半長靴磨き等は自衛  
隊に入隊したことを感じ新鮮な気  
持ちになりました。

訓練面では、基本教練、武器

# 駐屯地一般開放

令和五年四月一日、米子駐屯地は桜の開花に併せ駐屯地一般開放を行った。

昨年は新型コロナウイルスの影響を受け、対象者を隊員家族に限定する形で行ったが、今年は感染対策を万全とし入場を制限することなく一般開放を行うことも、事前の告知として駐屯地近傍にある施設や公民館等にポスター掲示を促していただき、駐屯地HPやSNSを活用し集客を行い、当日は約650名の来場者を迎えることができた。



装備品展示



観桜の様子



メッセージボード

催し物として、駐屯地内の観桜(約150本のソメイヨシノ)、連隊の保有する車両の展示、高機動車の体験試乗、地方協力本部(米子地域事務所)によるミニ制服の試着等を行いイベントは盛り上がりを見せた。

また、三月二十七日に着隊をした自衛官候補生に対しメッセージボードを作成し、来場された方々に激励メッセージを書いて頂いた。

駐屯地は今後も自衛隊に対する理解を深めるとともに地域から信頼される駐屯地を目指しこれからも邁進していく。

# 連隊競技会を実施

第八普通科連隊は、連隊の各種戦技能力の向上を目的として、連隊独自の各種競技会を行いその練度を維持・向上を図っている。

三月下旬に米子射撃場において連隊小火器射撃競技会及び炊事競技会を行った。

小火器射撃競技会においては拳銃、小銃、機関銃をそれぞれの装備者に分かれ、規定のタイム、命中数、総得点数により個人の部、中隊対抗の部で争われ、各中隊は日頃の訓練成果を発揮した。

炊事競技会においては制限時間二時間以内のなかで、それぞれの



射撃競技会(小銃)



炊事競技会

中隊ごとおいしい食事を提供する。これはもちろんのこと、安全管理、衛生面、炊事長の指揮能力等も評価の対象として行われた。

また、鳥取県家族会、隊友会、偕行社、鳥取県婦人防衛協力会、駐屯地モニターの駐屯地協力団体を競技会に招待し、射撃競技会の様子や炊事競技会の調理風景などを実際に見学し、その食事を喫食して頂いた。

なお、審査については、連隊長以下幕僚、門脇成枝様(鳥取県婦人防衛協力会副会長)、山本洋様(鳥取県隊友会会長)、田中



炊事競技会審査の様子

競技会優勝中隊  
小火器射撃競技会  
拳銃の部 第一中隊  
小銃の部 第三中隊  
機関銃の部 第一中隊  
炊事競技会 第三中隊

# 春季演習場定期整備

## 鍛錬の場・道場を整える

第八普通科連隊は、四月二十四日から二十八日までの間、日光演習場において春季演習場定期整備を行った。

本部管理中隊長を整備隊長として実施された演習場整備は、各



道路整備



整備の様子

中隊ごと示された地域の整備を実施し、まだ冬の寒さの残る日や悪天候の中での作業の日もあったが、隊員一人一人が体調管理、安全管理に留意しつつ安全かつ迅速に整備任務を完遂した。

二十七日には第十三旅団長(陸将補 松永 康則)が、日光演習場において視察に訪れ、整備状況を確認された。

連隊は、整備された道場を今後も最大限に有効活用し、訓練に励んで行く。

# 駐屯地各種広報行事に参加

米子駐屯地は、地域の方々に対し自衛隊への理解と協力を得るため、駐屯地の各種訓練、地域社会貢献活動、隊員募集等年間を通して各種広報活動を実施している。

また、各種教育においても新隊員教育やレンジャー教育では実際に隊員の家族等に対して訓練公開を行い自衛官として実際に訓練する様子を見て頂く機会として行っている。

四月二十一日、鳥取市で行われた日本海テレビが主催する「シン・防災DAY」に参加し連隊から災害現場で働く車として、偵察用オートバイ、高機動車、軽装甲機



カレーの炊出し(シン・防災DAY)



車両展示(こどもの国)



レンジャー訓練公開



自衛官候補生訓練公開



旅団長視察

